

校長室だより

# 春日 (しゅんじつ)

校長 清武 直人

## しゅん じつ ち ち 春日遅々

暖かい春の日差し  
遠くで鳴くヒバリの声を聞きながら  
青空に向かって大きく伸びをする。

「春日遅々」とは春のうららかでのどかな様を表す言葉です。このような日がいつまでも続いてほしいという願いを込めて、このお便りの名前を「春日 (しゅんじつ)」

と名付けました。校長室から時々お便りを出していこうと思います。

真夏の厳しい暑さの中でも、真冬の身の縮こまるような寒さの中にあっても、子どもたちの心はいつも「春日遅々」であるような春日小学校にしていきたいと思ひます。よろしくお祈ひします。

## 私の目標

春日小学校は、昨年創立110周年の記念行事を終えた伝統ある学校です。在籍児童数は770名。大規模校です。このような学校に赴任できたことを誇りに思っています。

さて、この春日小学校に赴任して、私は二つの目標を立てました。一つは「日本一挨拶がすばらしい学校」にすること。二つ目は、「欠席0の日」をつくること。

国語の勉強も算数の勉強も大切ですが、それ以上に人生にとって大切なことは気持ちのよい挨拶ができることです。日本一を目指します。

770名の子どもたちが在籍する学校で「欠席0の日」をつくることはかなり難しいことです。昨年度、欠席が3人の日が1日だけありました。0の日はありませんでした。欠席0にするために大切なことは、規則正しい家庭での生活、そして、楽しい学校。

それぞれのご家庭と学校の力で是非とも「欠席0の日」を実現させたいと思ひます。



## 見て聞いてうなづく

始業式で、6年生の板橋さんがこの1年間の心構えを語ってくれました。

「春日小学校の上級生として思いやりの聞き方をし、相手が話しやすいような工夫をもっとしていきたいです。」  
そのために、「相手を見て聞いてうなづく」。

私にも経験があります。話をしているよそ見をされると気持ちが萎えます。しかし、目を見てうなづくしてくれると話をしている元気が出てきます。

「見て聞いてうなづく」は、春日小学校の文化にしたいものです。

## はじめの一步

たし算も ひき算も  
果てしない宇宙旅行への  
はじめの一步

いろはにほへと  
私の世界を広げる  
はじめの一步

おはようも こんにちはも  
あなたと私を結ぶ  
はじめの一步

さあ、平成25年度の始まりです。  
春日小学校の皆さん、「はじめの一步」  
を大切にしましょうね。